



## 未来に向かう、39期をお客様、そして従業員と共に喜びで結ぶために

39期の下期を迎えるにあたり、この場をお借りして、私の思いをメッセージでお伝えします。サンフーズジャパンに関わる全ての皆さまのおかげで、39期上期は売上予算を達成することが出来ました。

皆さまに心から感謝申し上げます。

はたして、皆さまと共に歩んだ上期に続き、10月から始まる下期はどんな期になるのでしょうか。

食品価格の高騰はじめエネルギーコストやありとあらゆるコストが高騰を続けています。

この傾向は、更なる円安傾向と相まって、長期化することでしょう。

これは、人々の生活にも大きな影響を及ぼしているということは私も実感しています。

もちろん、サンフーズジャパンも例外ではありません。

モノづくりにかかる費用が、どんどん上がるけれど、お客様へその費用を100%ご負担いただくことはできないのです。

私は、この状況の中であっても、皆さまに必要とされる企業であり続けるため、更なる進化を続け、その結果しかるべき利益を積み上げていかなければならないと強く思っています。

39期が始まるにあたって私は「Thank you」という指針を掲げさせていただきました。

創業以来積み上げてきた諸先輩方への「感謝」、サンフーズジャパンを支えて下さるすべての方々への「感謝」が会社を未来に繋ぐ、最も大事な基盤であると私は考えています。

では、私たちは、この下期、どのような行動で「感謝」を表現していけば良いのか。

実は、そのヒントは、日々の中にあると私は思います。

サンフーズジャパンの従業員一人一人が、それぞれの立場と役割を通して関わる製品1袋1袋に、より一層「感謝」の思いを込めていくこと、同じ1袋のパウチにもありったけの「感謝」の思いを込めていくこと。

その1日、その1分、その1秒「感謝」の積み重ねが、お客様の許に届き、サンフーズジャパンに利益として還元されるのだと私は信じています。

環境は決して良いわけではありません。先行きはまさに不透明です。

だからこそ、サンフーズジャパンに助けを求める声もたくさん届いています。

その声に真摯に向き合い、全力で寄り添い、私たちが持てる力を全力で注ぎ込み、1袋たりとも無駄にはしないという、強い決意をもつこと。

39期下期は、従業員一人一人がその思いを忘れないで自分の仕事に取り組んで参ります。

最後に私たちが決して忘れてはならない「思い」をお伝えします。

サンフーズジャパンには、先人が残した素晴らしい言葉があります。

「サンフーズジャパンはお客様のサンフーズジャパンです」

「次工程はお客様」

この言葉には、創業以来、諸先輩が繋いできた「思い」があります。

サンフーズジャパンが、これからの10年を生き抜くヒントがあります。

39期の下期は、全従業員と共に、この「思い」を突き詰めて参りたいと思います。

サンフーズジャパンに関わる全ての皆さまと共に、未来に向かうための一步一步を、全身全霊をかけて取り組む所存でございますので、皆さまの更なるお力添えを何卒よろしく願いいたします。

令和5年10月2日

株式会社サンフーズジャパン  
代表取締役社長

吉田武史